



2020年 新春の挨拶



新年明けましておめでとうございます。
新しい年を迎えるに当たり、町民の皆様にご挨拶申し上げます。

昨年は、新天皇陛下がご即位され、新たな元号に変わる特別な年でありました。

町においても、4Hクラブの70周年を皮切りに、女性団体連絡協議会50周年、スポーツ協会60周年、スポーツ少年団50周年、文化協会50周年、水稻採種組合50周年など、半世紀を超える大きな節目の行事が沢山執り行われた年でもありました。

国内では、北海道知事・町議会議員選挙などをはじめとする統一地方選挙や参議院議員選挙、消費税10%など、潮目となる大きな出来事があった年でもありました。

更には、世界に目を向けますと、政治・経済・金融いずれにおいても大きな転換期を迎え、新しいうねりへの移行を感じさせられた年でした。イギリスのブレグジット、香港の民主化デモ、米中経済摩擦そしてロシアや中国の国家資本主義の拡張、米欧亀裂の危惧などは報道でも大々的に取り上げられましたが、2020年にはこれらの課題が好転に向けて進むことを切に願います。

このような転換期に、当別町は150年を迎えますが、歴史・文化・地政学的なことを紐解き、学びなおすには相応しいタイミングではないでしょうか。

今年の干支の庚子（かのえね）には、「変化が生まれる」「種子の中に新しい生命が萌し始める」との意味が含まれ、新しい挑戦にふさわしい年の様です。新総合計画元年にふさわしいスタートダッシュがきれるよう、また、これまで継続して挑戦（播種）してきました「役場庁舎の建て替え」「当別駅・太美駅の駅前開発」「当別版C R C」「図書館の創設」「商店街の活性化」「子育て世帯を増やす施策」「次世代通信とICT活用戦略」などは萌しを見せられる年に、そして「起業・企業誘致」「当別農業10年ビジョン」「再生可能エネルギー事業」「医療・介護・福祉政策」「教育レベルの向上」等々は黎明期から次のステージへのシフトアップを目指します。引き続き厳しい局面の続く人口減少社会に抗って、定住人口・交流人口の増加策に、今年も果敢に挑戦して参ります。

令和初の新年が、皆様にとりまして希望に満ちた年となります様、心からお祈り申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

当別町長 宮司 正毅



当別ふくろう湖（ダム湖）にかかる望郷橋